

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公表番号】特表2012-507278(P2012-507278A)

【公表日】平成24年3月29日 (2012.3.29)

【年通号数】公開・登録公報2012-013

【出願番号】特願2011-533932(P2011-533932)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/22 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 0 7 K 16/40 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 9/22

C 1 2 N 1/21

C 0 7 K 16/40

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月23日 (2012.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リボ核酸分解活性がなく、抗血管形成活性を有する単離されたヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 2】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 1 ~ アミノ酸残基 32 に対応するアミノ酸配列が欠落している、請求項 1 に記載のヒト短縮型 T 2 R N a s e。

【請求項 3】

配列番号 2 と少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 4】

配列番号 2 または配列番号 14 に示されるアミノ酸配列を含む、請求項 2 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 5】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 1 ~ アミノ酸残基 49 に対応するアミノ酸配列が欠落している、請求項 1 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 6】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 1 ~ アミノ酸残基 52 に対応するアミノ酸配列が欠

落している、請求項 1 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 7】

配列番号 3 または配列番号 1 5 と少なくとも 9 5 % 同一であるアミノ酸配列を含む、請求項 6 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 8】

配列番号 3 または配列番号 1 5 に示されるアミノ酸配列を含む、請求項 6 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 9】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 1 ~ アミノ酸残基 6 9 に対応するアミノ酸配列が欠落している、請求項 1 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 0】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 2 5、アミノ酸残基 3 2 またはアミノ酸残基 5 2 に対応するアミノ酸座標の少なくとも 1 つにおけるシステイン残基が欠落している、請求項 1 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 1】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 2 5 およびアミノ酸残基 3 2 に対応するアミノ酸座標におけるシステイン残基が欠落している、請求項 1 0 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 2】

配列番号 1 の N 末端のアミノ酸残基 2 5、アミノ酸残基 3 2 およびアミノ酸残基 5 2 に対応するアミノ酸座標におけるシステイン残基が欠落している、請求項 1 0 に記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 3】

認識実体ペプチド配列をさらに含む、請求項 1 ~ 1 2 のいずれかに記載のヒト組換え短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 4】

前記認識実体ペプチド配列は H i s タグである、請求項 1 3 に記載のヒト組換え短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 5】

アクチン結合活性を有する、請求項 1 ~ 1 4 のいずれかに記載のヒト短縮型 R N A S E T 2。

【請求項 1 6】

請求項 1 ~ 1 5 のいずれかに記載のヒト短縮型 R N A S E T 2 の精製された調製物。

【請求項 1 7】

請求項 1 ~ 1 5 のいずれかに記載のヒト短縮型 R N A S E T 2 と、医薬的に許容されるキャリアとを含む医薬組成物。

【請求項 1 8】

請求項 1 ~ 1 5 のいずれかに記載の短縮型ヒト R N A S E T 2 をコードする単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 1 9】

配列番号 4 または配列番号 5 に示される核酸配列を含む、請求項 1 8 に記載の単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 2 0】

請求項 1 8 又は 1 9 に記載の単離されたポリヌクレオチドを含む、発現可能な核酸構築物。

【請求項 2 1】

細菌における核酸構築物の発現は、1 リットルの細菌培養物あたり少なくとも 5 0 m g のヒト短縮型 R N A S E T 2 を産生させる、請求項 2 0 に記載の核酸構築物。

【請求項 2 2】

請求項 2 0 又は 2 1 に記載の核酸構築物により形質転換された細胞。

【請求項 23】

前記細胞は *E. coli* 細菌細胞である、請求項 22 に記載の細胞。

【請求項 24】

請求項 23 に記載の細胞を複数含み、かつ、1 リットルの培養物あたり少なくとも 50 mg の短縮型ヒト RNA SET 2 を発現する細菌培養物。

【請求項 25】

請求項 1 ~ 15 のいずれかに記載の短縮型ヒト RNA SET 2 の、血管形成をその必要性のある対象において阻害するための医薬品を製造するための使用。

【請求項 26】

前記血管形成を阻害することは、腫瘍の血管形成を阻害することである、請求項 25 に記載の使用。

【請求項 27】

前記腫瘍は良性腫瘍または悪性腫瘍である、請求項 26 に記載の使用。

【請求項 28】

前記腫瘍は原発性腫瘍である、請求項 26 に記載の使用。

【請求項 29】

前記腫瘍は転移腫瘍である、請求項 26 に記載の使用。

【請求項 30】

配列番号 2、配列番号 3、配列番号 14 または配列番号 15 のいずれかに示されるアミノ酸配列を有するヒト短縮型 RNA SET 2 ポリペプチドを認識する抗体。